

〈隷書〉

（この課題で書体は自由。但し、この課題は一人一点のみとする）

井之上 南岳 先生書

落日煙嵐呈紫翠
清秋木石寫丹青

〈行書〉

吉田 成美 先生書

落日煙嵐呈紫翠
清秋木石寫丹青

□ 落日煙嵐紫翠を呈し、清秋木石丹青を寫す。（劉應子）

夕陽が山々を照らし、樹木は美しい絵を見るようである。（煙嵐は煙たなびく山の気、丹青は彩色を施した絵画）

次号予告「秋色入林紅黯淡 日光穿竹翠玲瓏」

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書

いつしかと 萩の葉むけの 片よりに そ、や秋とそ 風も聞ゆる

□ いつしかと 越きの者むけの か多よりに 楚、や秋とそ か勢もきこ遊ぶ

△新古今和歌集 二八六 崇徳院御歌▽

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

山本飛雲先生臨

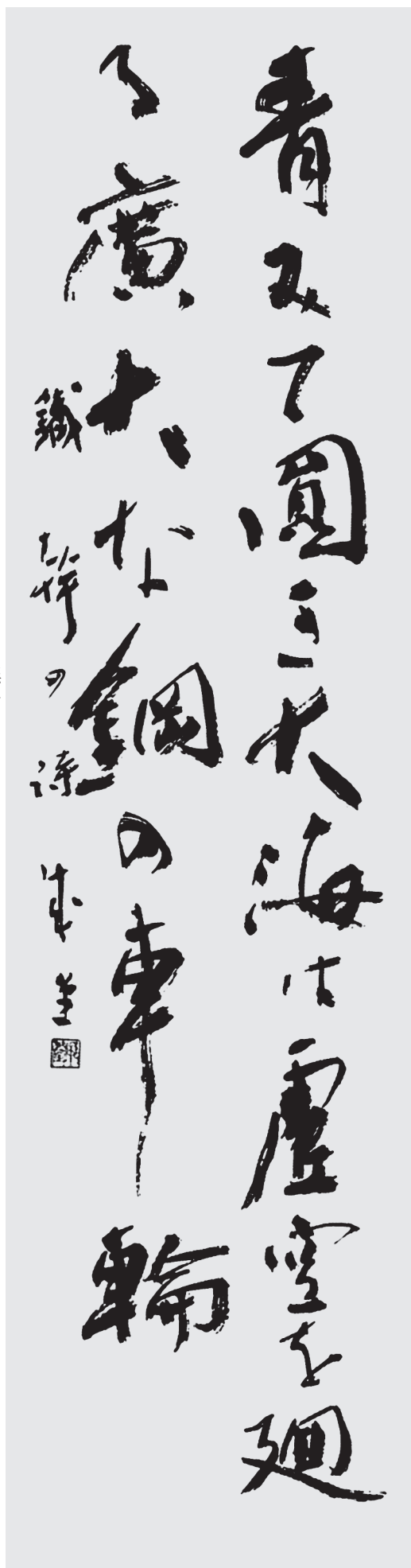
孫紘通義尉没于
蠻泉明孝義有

▽ 顔勤礼碑

孫紘通義尉没于蠻泉明孝義有

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書

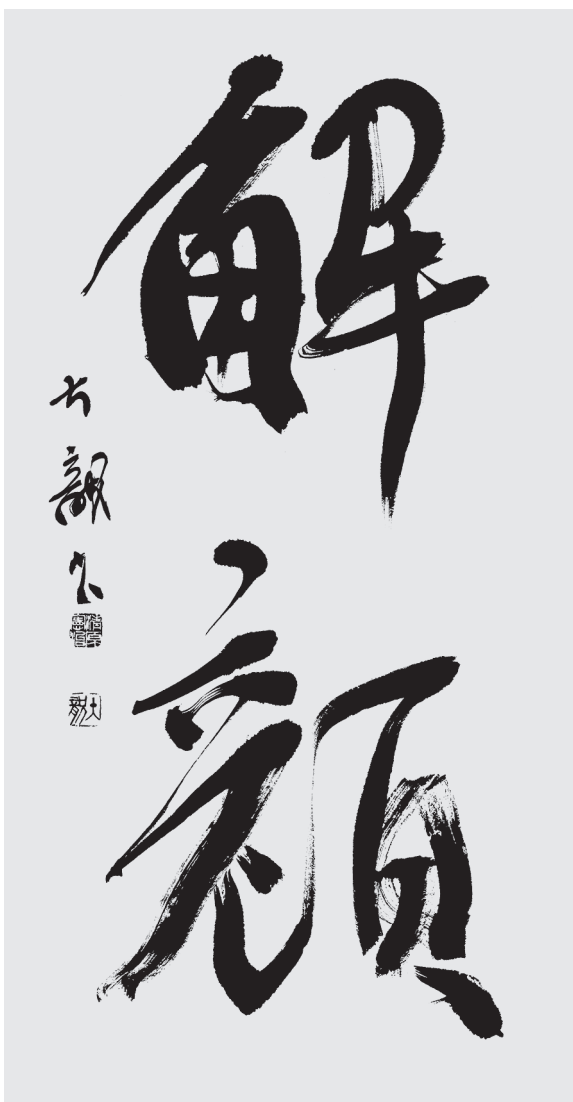


□ 与謝野鉄幹の詩

青みて円き大海は

虚空を廻る広大な鋼の車輪

条幅随意（半折½縦のみ）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



清原大龍先生書

□ 解顔

「開顔」ともいう。
表情を和らげる。相好を崩して喜ぶ。
京都の事件、アメリカの銃乱射など、
悲惨な事件が多発していますが、この
言葉のように「顔をほころばせ、心か
ら大笑いできる」世の中になればと願
うばかりです。

《手本（課題例）にとられず意欲的な作品を期待します。》

半折作品は各課目ごとに横½に一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意（半折½）漢字・詩文書の手本は、各月交互の掲載となります。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 菊酒不祥を除う (風土記)

菊をひたした九月九日の酒は、すべての不祥を払い去る。



次号予告「木葉動秋聲」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 菊酒不祥を除う (風土記)

菊をひたした九月九日の酒は、すべての不祥を払い去る。



次号予告「木葉動秋聲」

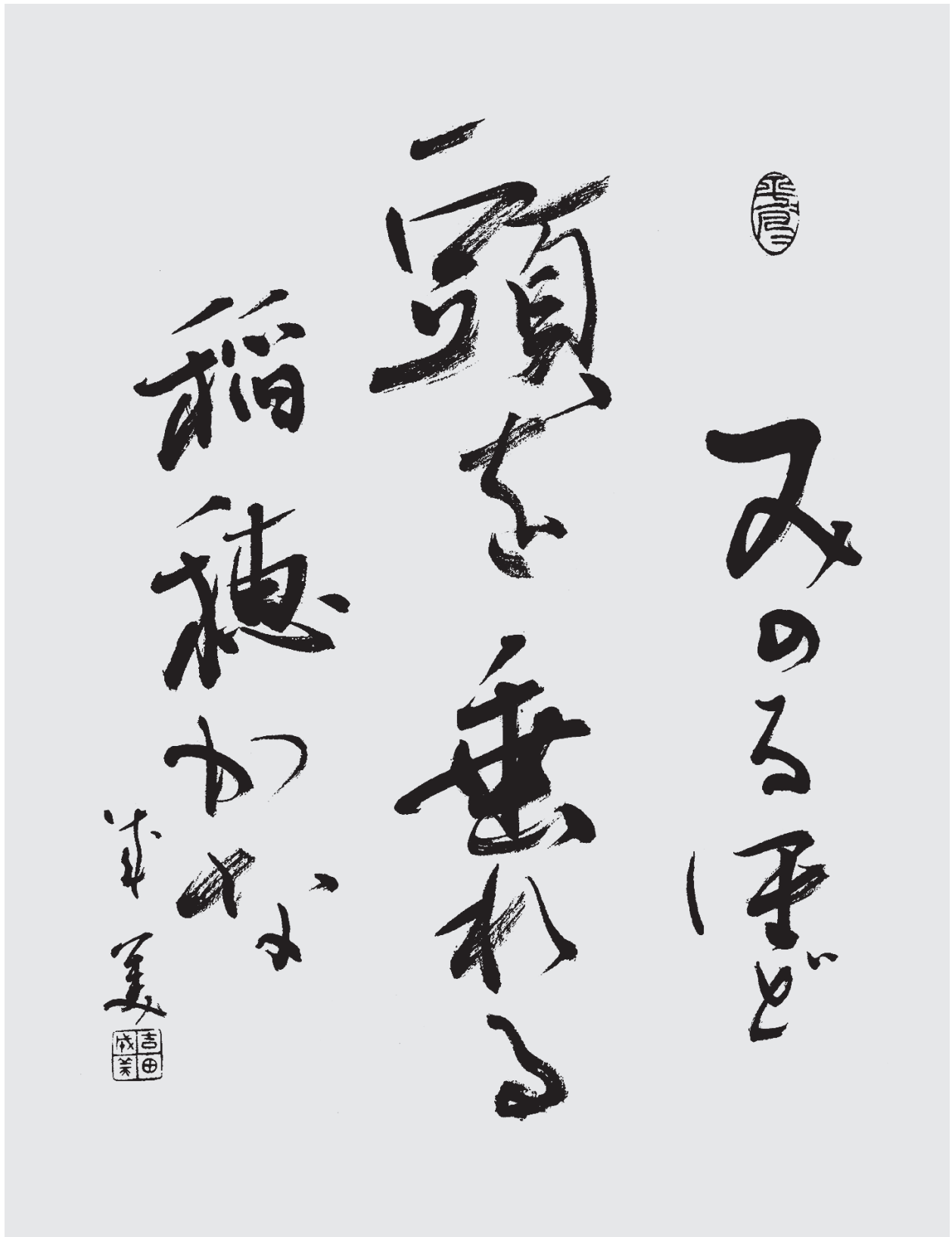
吉田成美先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の漢字・詩文書の手本は、各月 交互の掲載となります。

△詩文書▽

みのるほど頭^{こうべ}を垂^たれる稲穂かな (詠人しらず)



吉田成美先生書

半紙随意（臨書）参考手本 — 9月末日締切 —

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

▽ 顔勤礼碑



△ 臨書▽ 多墨でゆったりと抑揚をつけ、豊艶な線に心掛けてみましょう。

「孝義」

吉田成美先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△仮名▽

いつし可^かと

を^のき農者む介^けの

可^か多^たより二^に

そ、やあきと楚^そ

可^か勢^せもきこゆる

いつし可と
をき農者む介の
可多より二
そ、やあきと楚
可勢もきこゆる



いつしかと 萩の葉むけの 片よりに そ、や秋とそ 風も聞ゆる

舟尾圭碩先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の実用書・手紙文の手本は、各月 交互の掲載となります

姓 号	秋草に日本の四季の美しさを発見	鶏頭	菊月	九月
		台風	萩	初秋
		いわし雲	秋晴れの空	新涼の候

△実用書▽

九月 初秋 新涼の候 菊月 萩 秋晴れの空 鶏頭
台風 いわし雲 秋草に日本の四季の美しさを発見

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書譜

〈暮らしに役立つ書〉

秋風が心地よく感じられるようになりました。
先日は同窓会の案内状をありがとうございました。
久しぶりに皆に会ったのですが、運悪く
研修に重なり、残念ながら、今回は参加する
のが難しく感じています。
折角の機会なのに申し訳ないです。また
次の案内を楽しみにしています。
幹事さん、お疲れさま。ご盛会をお祈り
しています。

淳子

野のある便箋に書いてみよう。

〈26 cm × 18 cm〉

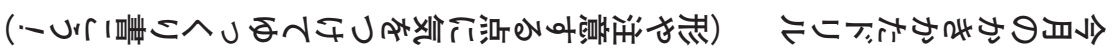
紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

	菊は仙人の住む所に咲き、長生きの 効能があるとされ、人々は花卉を酒盃 に浮かべて飲んだ。また、重陽の日の 前夜、綿に菊の香や露をしみこませ、 当日の朝、体を拭うことをしたという。				
段 級					
氏 名					



一般の方も是非チャレインジしてください。

13

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

秋の名月

小学4年

つり糸

小学3年

とんぼ

小学2年

そら

ようねん・小学1年

夕映えの空

中学2・3年

銀河系

中学1年

星ふる夜

小学6年

実りの秋

小学5年

秋永春霞先生書

△条幅¼||四尺画仙紙半折¼: 68cm×17.5cm▽

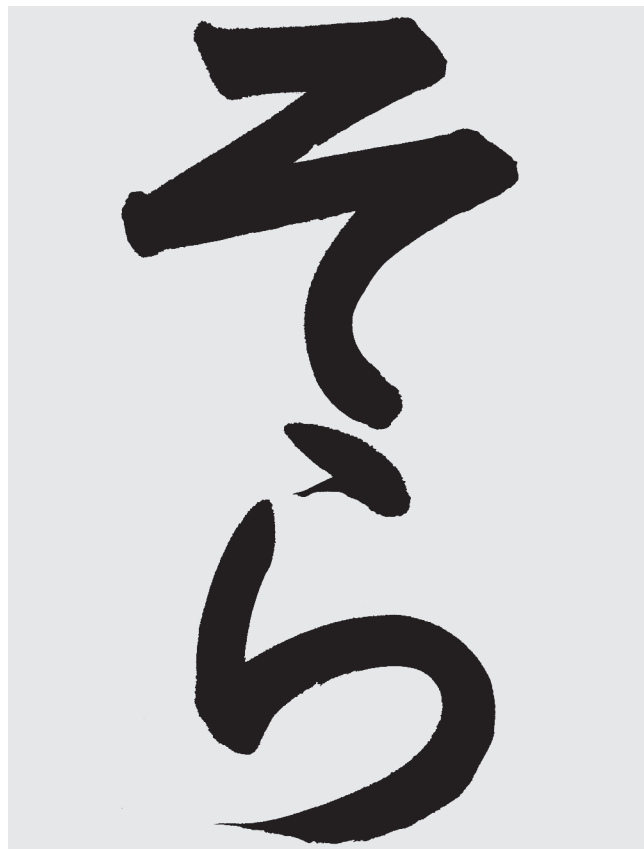
□「ぼ」の四画目は、筆だけをまわさないように気をつけて書きましょう。



小学二年

次号予告「いねかり」

□「とメ」「ハネ」「ハライ」のちがいに気をつけて、のびやかに書きましょう。



ようねん・小学一年

次号予告「きく」

坂 元 紫 香 先 生 書

□「はらい」「やはね」、転折の強弱を意識し、全体のバランスに気をつけて書こう。



小学四年

次号予告「白鳥」

□平仮名は大きな腕の動きで、懐を広くし、「糸」は点画の組み立て方を考えて書こう。



小学三年

次号予告「水玉」

吉 田 成 美 先 生 書

小 学 五 年

次号予告「登 山」



□「実」は二本の横画の長さに注意して、「秋」も左右の払いを伸びやかに書きましょう。

小 学 六 年

次号予告「創 造」



□「星」は最終画を長く書き、「夜」は四画目のたて画より最終画の右払いを短かめに。

秋 永 春 霞 先 生 書

中 学 一 年

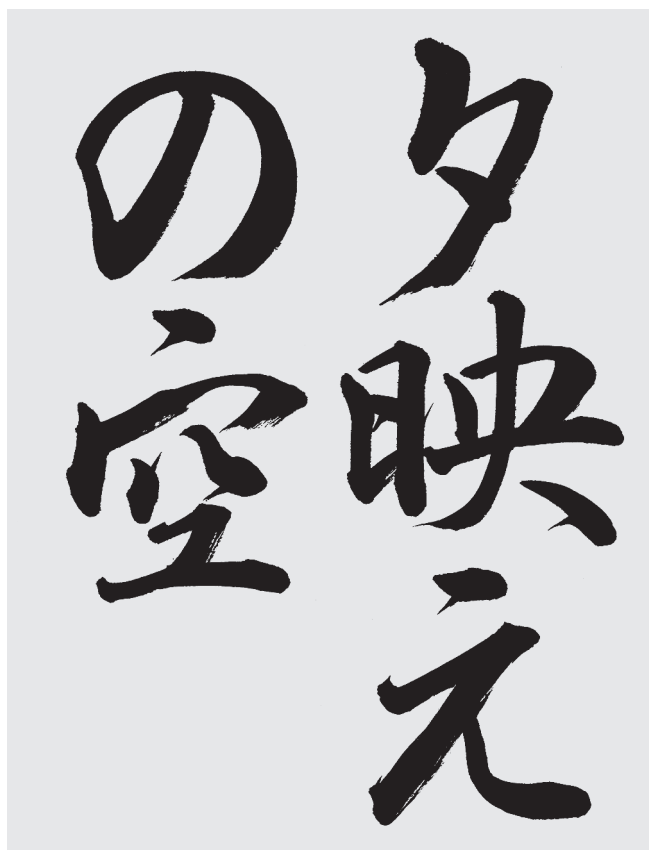
次号予告「挑 戦」



□筆順に気をつけ、行書の特徴である点画の連続を意識して、流れよく伸びやかに書こう。

中 学 二 ・ 三 年

次号予告「荒城の月」(行書)



□筆圧の変化など行書の筆使いを意識して、漢字と仮名の調和に留意して書こう。

吉 田 成 美 先 生 書

段 級										
氏 名										
	い	の		い	る	だ	ね	。		
	つ	ね	く	の		ス	ホ			
	が	い	ま	した			。			
	け	が								

小学一年

段 級										
氏 名										
	え		あ	か	と	ん	は			
	す	す	お	し	の	な	。	い		

ようねん (※ようねんの方は、小学一年の課題を書いてよい。但、審査は従来通りです。)

い　　わ　　す　　は　　と　　め　　る　　し　　た　　は　　ら　　う　　ホ　　。

段級		氏名	
と	い	て	か
び	や	う	に
う	の	中	に
お	昼	前	に
と	う		

[illegible]

話し合えば発表会の練習
で助言し合った人を
思い出してグループで
たえ合おう。

く と 糸 糸 糸
糸 糸 糸
糸 糸 糸
糸 糸 糸

とめる
糸練
糸練
糸練

(れん)

一 日 日 日 助

◎右にはらう

坂元紫香先生書

19











濃濃濃濃——
——事事
目

跳跳跳

段級	氏名
私のちやうは、明るく、 受けて、箱の中から、 輝いた。私たちは、その上に体を かがめて、美しく、形や、濃く、見事な 色を眺め、ちやうの名前を言った。	

小畠秋聲先生書